

「幡多山もりフェス2016」に参加

高知水源林整備事務所は、平成28年11月6日(日)に高知県四万十市不破の四万十川河川敷において開催された「幡多山もりフェス2016(主催:幡多地区森林組合協議会、幡多山もりフェス実行委員会)」に参加しました。

4回目の今年は朝から天候にも恵まれ、大勢の家族連れで賑わい大盛況のイベントとなりました。テーマは「続・世代をつなぐ山仕事」という、次世代に引き継がれていくことを強く意識させる林業の盛んな地域ならではのもので、農林・技術関係の学校の出展もあり、子どもたちもたくさん来場している若いエネルギーにあふれたイベントとなりました。



当事務所のブースは水源林造成事業のPRのためのパネルや水源林造成事業地の写真展示、パンフレットの配布のほか、昨年も大好評だった、子ども向けトイチェーンソーを持って林内作業コスチュームで記念写真を撮影する「林業コスプレ」をはじめ、「オリジナルエコバッグ製作」や「漢字当てクイズ」等を出展して、地域の皆様と交流を深めることができました。



また、メインステージでは、高知水源林育成士と協力して森林をテーマにした「紙芝居」を行いました。「紙芝居」では、子どもたちが集まって夢中で見ている様子が伺え、山や森が子どもたちにとって身近なものであることが見受けられました。

高知水源林整備事務所では、このようなイベントの参加を通じて、今後も地域の皆様との交流を深め、水源林造成事業の役割、重要性を理解していただけるよう、積極的に取り組んでまいります。

